

# 第4回 即興型ディベート基礎講座

## 講義『環境とモビリティ』Report

- 日 時 2014年9月27日（土）
- 場 所 本校4F会議室
- 指 導 者 中川智皓先生、社会人5名、九州大学生3名
- 参 加 者 生徒46名（男子17名／女子29名）
- 準 備 物 スクリーン、PC（1台）、プロジェクター（1台）、スピーカー
- 講 義 環境とモビリティ（講師：中川 智皓 先生）
- 実 践 演 習 ①We should buy electric vehicles (EV), not conventional cars.  
②Personal Mobility vehicle (PMV) gives us benefit than harm.

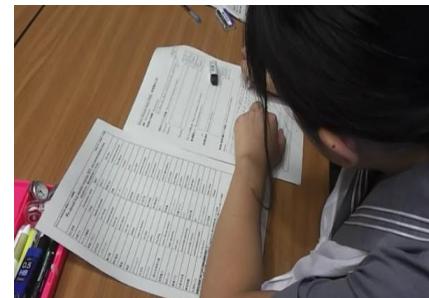
### 1 講演「海外留学の現状と未来」【60分】

ベネッセコーポレーション 上田 竜介 氏

将来、どこでどんな仕事に就きたいか、学生時代にどんな経験を積んだほうがいいのか、自分のやりたいこと、やっておくべきことを考えたときに、日本の大学と海外の大学の両方を視野に入れて考えてみることが大切であり、海外留学についての留学パターンや費用面、実際に留学している方の話（映像）をきました。

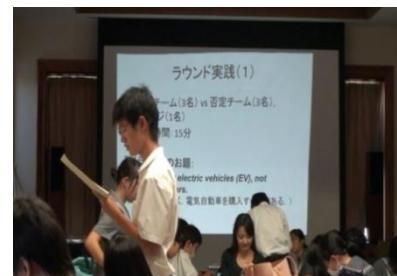
留学パターンとしては1つは日本の大学に進学して、その後に留学する、2つめは高校卒業後、海外の大学に直接進学するパターンがありますが、どちらも留学した後のことを考えることが大切で、将来のビジョンを持っていることが重要です。求められる英語力は TOEFL60 以上、費用は国内の大学で一人暮らしする費用とそんなには変わらないということです。

計画的な準備が必要なので、日々の学習に具体的な目標を設定することが大切である、という話でした。



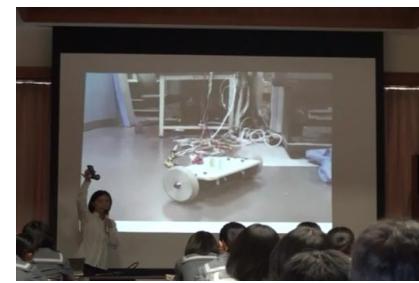
### 2 ディベート基礎講座の流れについての説明【10分】

今回から第8回ディベート講座まで、環境に関する専門家の講義を受けて、環境をテーマに即興型ディベートを実践します。



### ●今後の予定●

- 第4回『環境とモビリティ』大阪府立大学 工学研究科  
助教 中川 智皓 先生
- 第5回『環境と国際問題』在ジュネーブ国際機関日本政府  
代表部 専門調査員 斎藤 美穂子 先生
- 第6回『環境と経済』内閣府職員 伊藤 久仁良 先生
- 第7回『環境と訴訟』弁護士 佐藤 大文 先生
- 第8回『環境と企業』株式会社 東芝 伊藤 直美 先生
- 第9回『大会』



### 3 講義『環境とモビリティ』【30分】

講師：中川 智皓 先生

自動車の歴史から話しが始まりました。自動車は 1769 年、日本で言うと江戸時代に自動車が誕生、1970 年代に車の普及とともに交通事故が増加し、社会問題となり、ほぼ同時期に大気汚染、1968 年に大気汚染防止法、1973 年にガソリン価格が高騰（オイルショック）。それから、『安全』、『環境にやさしい』、『燃費がよい』を重要視されるようになりました。

近年ではハイブリッドカー（エンジンと電気モーターの 2 つの動力をもつ）、燃料電池車(Fuel cell Vehicle)、電気自動車(Electric vehicle)の発展が目覚ましくなってきた。

生徒たちはメモを取りながらしっかりと講義を受けていました。



### 4 実践①【30分】

We should buy electric vehicles(EV),not conventional cars. (従来の車ではなく、電気自動車を買うべきだ)



### 5 実践②【55分】

Personal Mobility vehicle (PMV) gives us benefit than harm. (パーソナルモビリティは我々に害よりも利益をもたらす)

### 6 まとめ【5分】

これから環境について調べて、何が重要なのか、自分の頭の中で整理していくようにして欲しい、将来、研究者などの職に就いたときにもこの即興型英語ディベートの力が発揮できる、これからも頑張っていこう、という話がありました。